**大田区訪問介護事業者連絡会**

**令和５年度活動報告**

**１　まえがき**

本会は2010（平成22）年に設立し、区内訪問介護事業所はじめ大田区や関係各所のご協力・ご賛同を頂いてこれまで活動してまいり、１４年目になりました。区内の事業所様にご賛同頂き活動を継続できていることに心から感謝申し上げます。

さて、令和５年度は『Re.connect～もう１度つながろう～』をスローガンにあげ、感染対策をしながら,対面方式による様々な活動を再開、改めて“人の出会いの大切さ”を実感しました。

またサービス提供責任者やヘルパーの質の向上を目的とした研修会をはじめ、区内職能団体との懇談会、地区別懇談会、イベント、人材確保の働きかけ、新型コロナウイルスへの対応、地域貢献活動など様々な活動を行ってまいりました。その内容についてご報告申し上げます。

**２　活動報告**

1. 運営委員会の開催  
   運営委員による運営委員会を令和５年4月から令和６年３月の間毎月１回程度おおた消費者センターにて実施しました。本連絡会の運営に関する協議や会員の意見集約などを行いました。詳細はホームページ等をご覧下さい。
2. 定期連絡会

令和５年度は,以下の定期連絡会等を開催いたしました。ご参加頂きありがとうございました。

| 内容 | 日　時 | テーマ | 参加人数 |
| --- | --- | --- | --- |
| 総会・第1回  定期連絡会 | 令和５年6月27日 | テーマ：『グループディスカッション～なんでも楽しく情報共有しましょう～』  ●自転車のヘルメットについて　●カスタマーハラスメント　●買物代行の電子マネー  会場：カムカム新蒲田 | ３６名 |
| 第2回  定期連絡会 | 令和５年11月16日 | テーマ：『お客様は神様？！ガマンが仕事？！～お客様に寄り添いつつスタッフの心身を守るために～』講師：山口 早由壬氏　会場：入新井集会室 | １８名 |
| 第3回定期連絡会（大田区介護事業者協議会共催） | 令和６年3月5日 | テーマ：「2024年介護保険制度改正の最新情報を聞く！」  講師：兵庫県立大学大学院 客員教授 馬袋 秀男氏  会場：池上会館 | 会場39名youtube 35名 |

（３）大田区福祉部との懇談会

令和５年６月27日、大田区役所にて、大田区福祉部と大田区訪問介護事業者連絡会との懇談会が行われました。大田区から介護保険課介護サービス推進担当課長をはじめ５名が参加、連絡会からは６名が出席しました。「新型コロナウイルス対策」「ハラスメント対策」「人材不足」「大田区ケア俱楽部」「研修関連」などを議題にし、意見・要望・提案を踏まえ、大変有意義な話し合いが行われました。

そうした中で、兼ねてより質疑及び要望していた「大田区家族介護支援ホームヘルプサービス」の「要介護３」の利用が令和６年４月より可能となりました。

今後とも引き続き大田区と情報共有し合いながら、区民と事業者双方が安心した地域福祉に取り組んでいけるよう活動してまいります。

1. 各連絡会との懇談会の開催

各連絡会（専門職とその専門性）を「知る」「つながる」「協力し合う」などを目的に各職能団体との懇談会を開催しました。今後につながる良い機会となりました。

* + 1. 令和５年６月２１日：大田区福祉用具事業者連絡会（訪問連:７名,用具連:６名参加）
    2. 令和５年10月18日：NPO法人大田区介護支援専門員連絡会(訪問連:7名,CM連:4名)
    3. 令和５年11月22日：相談支援事業所連絡会おおた(訪問連：5名、相談連：30名）
    4. 令和５年12月18日：大田区訪問看護ステーション連絡会(訪問連:8名、訪看連:4名)
    5. 令和６年２月２１日：一般財団法人大田区通所事業者連絡会⇒４月１８日に延期

（５）令和５年度地区別懇談会（ZASSOU会）の開催

今後の地域密着した訪問介護事業所同士のみならず、同職種連携を図る目的で昨年度より初めて開催いたしました。まだ参加人数は少ないですが、徐々に増えていくことを期待しています。また来年度以降は多職種の方にも声を掛けていく予定です。

令和5年10月27日：シニアステーション田園調布（参加者：７名）

令和５年11月8日：包括田園調布医師会（参加者：７名）

令和５年11月28日：包括南馬込（参加者：６名）

令和５年12月12日：包括たまがわ（参加者：12名）

令和6年2月13日：株式会社シーン（参加者：２名）

令和6年2月27日：包括蒲田（参加者：５名）

（６）大田区在宅医療連携推進協議会の参加

　　　区内在宅医療体制のより一層の充実を目指すため、関係機関が一体となった連携体制の構築を目的とする「大田区在宅医療連携推進協議会」に、運営委員3名が参加し、訪問会議の立場から提言を行っています。

（７）第２期　おおた介護予防応援事業　優秀チームのインタビュー動画作成支援

　　　総合事業における介護予防の適正な評価により、事業者の介護予防に対する取り組み意識を高めることで、大田区における介護予防サービスの質の向上を図る目的で、今回優秀チーム５におけるインタビュー動画作成（うち２チーム）を行いました。（令和５年７月２１日実施）

（８）平和島包括主催ケアマネジャー研修会（令和５年８月１６日　２６名参加）

　　　在宅介護現場におけるカスタマーハラスメントに関する研修会の登壇（山口氏）

（９）くらし健康あんしんネットおおた（区民公開講座）の参加

　　　令和６年３月１６日（土）アプリコ小ホールにて第10回くらし健康あんしんネットおおた　区民公開講座にお手伝いに参加しています。

（10）おおた福祉フェス２０２３の開催とブースの出展

　　　令和５年１２月１０日におおた福祉フェス２０２３が４年ぶりに産業プラザPio大ホールで開催。訪問連ブースでは、クリスマスオーナメント作成とエッセンシャルワーカーへのメッセージを作成して頂き、予定数の100を達成いたしました。メッセージに関しては後日大田区介護保険課介護サービス推進担当丸山課長はじめ、区の関係者に提示報告させて頂きました。

（11）令和６年能登半島地震の義援金について

　　　令和６年１月１日に発生した能登半島地震に伴い、当会では以下の活動を行いました。

大田区訪問介護事業者連絡会より、介護保険課介護サービス推進担当丸山課長を通じて日本赤十字社へ寄付しました（令和６年２月２８日）

３月５日公開講座（第３回定期連絡会）で募金箱を設置し、集まった義援金を大田区介護事業者協議会と共同で日本赤十字社へ寄付しました（令和６年３月８日）

いずれにおきましても、皆様のご理解ご協力の程ありがとうございました。（尚、①及び②は大田区のホームページ「義援金を頂いた方」にそれぞれ掲載されております。）

また、今回の地震で犠牲となられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

（12）大田区訪問介護事業者連絡会連携システム「ツナガリカタ」の構成と運用

　　　　昨今訪問介護における人材不足が続く中で、居宅支援事業所が訪問介護の依頼に大変苦慮されております。そうした中で当連絡会が介護支援専門員と訪問介護事業所をツナゲルシステムの開発を行い、「ツナガリカタ」というシステムを令和６年度稼働します。詳しくはパンフレット等をご覧ください。

(13) 広報活動

本連絡会のホームページの作成活動、ならびにFacebookで当連絡会の活動状況や大田区の各連絡会からの情報や介護関連情報の発信を行っております。<http://www.ota-kaigo.net>

また昨年当会のパンフレットも作成。幅広く活用しています。

**３　現在の加入状況**

加入事業者数　　４５事業所（令和６年３月３１日現在）

以　上